第１学年　技術・家庭科家庭分野　学習の指針（シラバス）

１　学習の目的（教科の目標）

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して，よりよい生活の実現に向けて，生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

⑴　家族・家庭の機能について理解を深め，家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて，生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。

⑵　家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなど，これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。

⑶　自分と家族，家庭生活と地域との関わりを考え，家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

２　学習計画

	学　習　内　容	学 習 の ね ら い
２学期	①　1 年を見越した「家庭科ガイダンス」 ②　生活を豊かにするものの製作	・自立した生活を身に付ける意識を付けるために学習内容と目標を立て、意識づけする。 ・製作に必要な材料の特徴や縫い方、用具の安全な取扱いについて確認する。 ・ミシンの基本的操作を復習し、計画に沿って作業を進める。
３学期	③　目的に応じた衣服の選択 ④　日常着の手入れと保管 ⑤　持続可能な衣生活 ⑥　自分の成長と家族・家庭生活	・衣服と社会生活の関わりを理解し、目的に応じた、個性を生かす着用や適切な衣服の選択について考える。 ・材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を習得する。 ・自然や人にやさしい住まい方の工夫を知る。 ・自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解する。

３　評　価

観　　点	評 価 の 内 容	評 価 の 方 法
知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。	定期テスト・ワークシート、学習ノート、作品等で評価します。
思考・判断・表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、実践を評価・改善、考察して課題を解決する力をみにつけている。	定期テスト・ワークシート、学習ノート、作品等で評価します。
主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、より良い生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	ワークシート、学習ノート、作品、授業の振り返り等で評価します。

上記に示した３つの観点から総合的に評価し，成績とする。

４　学力向上のためのアドバイス

・家庭科の学習は、家庭生活や家庭生活を取り巻く社会に目を向けることが学習のスタートです。自分の生活を見つめ、これからの生き方を考え、生活をよりよくするために、何ができるか、共に考えていきましょう。